

信用取引の評価損益率で見ると、カブドットコム証券の顧客は市場平均よりもよい成績をキープしている

同じ株でも長期投資と短期投資は「別モノ」と考えよ

世の中、何をやっていいかわからないって「信用取引だけは手を出してはいけない」と考えている人が多いと思うんですけど。白田 確かに、長期投資として考えるのなら、やる必要はないんで

白田 別モノですね「会社の株主になりたい」と買つのが長期投資、それなら別に目先の相場なんて関係ない。一方、「相場場で儲けよう」と買つのが短期投資。この場合、企業の業績がいいとか悪いとかだけではなくて、タイミングが勝負になりますから、そうすると、同じ株でもやり方が違ってきます。具体的にどう違うんですか。

白田 短期の場合は、相場の波に逆らっちゃうダメなんです。下落相場であれば、売らないと儲からない。下がっているという事は「弱い」ってことなんです。弱い株を買って報われることはないのだから、**みんなトレンドに逆らって買うから失敗する。**

でも現物取引だと、下落相場でも買いかから入れませんよね。これは大きなリスク。白田 そう。短期で利益を得ようと思うなら、現物株を買ってどうやり方だけでは限界があるんです。つまり相場波に乗って利益を追求するのであれば、信用取引を使

すよ。でも、見てみると、ほとんどの人が短期投資をやっているんですね。要するに早く儲けたい、すぐに結果を出したいと思っているんでしょ。だったら、「信用取引」を使う意義もあるところですよ。同じ株式投資でも、短期投資と長期投資は別モノと考えろ、ということ。

さ〜さ〜!氏に聞く



白田 琢美氏

株式啓蒙家。カブドットコム証券執行役員。株式情報を提供する人気サイト「かぶコーネット」の主宰者としても知られる。信用取引の利点を上手に活用し、安心して利用できるサービスを提供したいと「リスク管理追求型信用取引」を発案。

信用取引で儲けるコツとは？

リスク管理追求型のススメ

世間では怖いもの、なかなか勝てないもの、と思われている信用取引。しかし、そんな信用取引の常識を変えたい！という熱い思いで、カブドットコム証券がスタートさせたのが「リスク管理追求型信用取引」。勝つためのしくみが勢ぞろいで、これであなかも、パワーアップ間違いなし！

逆指値を使いこなせ!

時価450円の銘柄が425円まで下がれば返済



損失をふくらませないロスカット

自分で決めた損切りラインに達したら売り、という逆指値注文を出しておけば、それ以上損失が膨らむことはない。リスクコントロールをするうえで、もっとも重要。

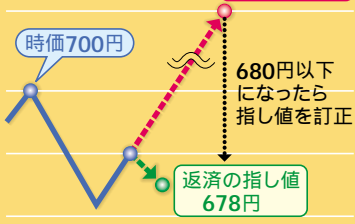
株価上昇に合わせて逆指し値を切り上げる



リスクをセーブしながら利益を拡大

どこまで上昇するかわからない場合、逆指値をすれば利益を拡大させつつ下がっていくリスクをセーブすることが可能。株価上昇に合わせて、逆指値を上をスライドさせていけばOK。

手持ちのA株を上下で返済注文



売りと買いを同時に注文できるW指値

指し値と逆指値を同時に指定。予想通りに値上がりしたら利食い、値下がりしたらロスカットが自動的にできる。「究極のわがまま注文」と呼ばれている。

底打ち、あるいは上昇トレンドへの転換を確認して買う

買ったほうが投資手法の幅が広がります。

でも信用取引って、期日とか追い証とか、なんとなく現物株にはないハードルがある分、儲けるのが難しいイメージがあるんですけどよね。
白田 それは、むやみやたらに信用取引をやっても失敗しますよ。心理的にロスカット（損切り）ができなくて損が膨らみ出すと、まず勝てません。逆に損

が怖くて、予測が当たったときにはすぐに利食つから、利益はものすごく小幅になる。

一般的に信用取引は、そうなりがちなんですか。

白田 「この株が上がりそう」とかで、対面で信用取引をやっていた人は、うまくいっていないケースがほとんどでした。

でも、カブドットコム証券さんで信用取引をしている人たちの成績はいいですよ（右グラフ参照）。そのヒミツは「リスク管理追求型信用取引」にあり、ということですか？
白田 そつですね。まず、対面よ

りネットで信用取引をやっている人の成績のほうがいいはずなんです。それは手数料の違いもあるし、営業マンとの会話がない分、冷静な判断ができる。中でも弊社のお客様さまの成績がいいのは「逆指値」

が使えることが大きいと思います。それが、信用取引にとって有利なシステムだと。

白田 さっきも言ったように、信用取引で損失を膨らませるとまず、立ち直れません。だから、損失を拡大させないのが大きなポイントなんです。もう、これがすべてと言っていい。そこでロスカットをして損を限定させることが大切

逆指値を利用すれば、損を限定しかも利益は無量大です。売りの場合はその逆になるわけ

白田 そつです。たとえば買いの場合、普通は今の値段より下で指値をしますよね。安く買いたいから。でも、それは勢いが弱くなつた株を買うことなんです。そうじゃなくて、「どこまで上がったか」という注文を出してあくたとえば、今950円の株が1000円になったら、この株を買います。反発を見定めて、トレンドが変わってから買おうというわけです。

なんですが、それをやりやすくなつたのが「逆指値」です。つまり「下がれば売り」「上がれば買い」ってヤツですよ。



チャンスを逃さず、損失を抑える条件注文って何だ？

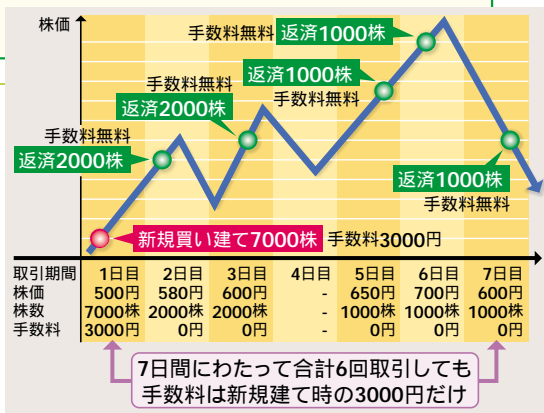
「逆指値」「W指値」「Uターン注文」など、条件をつけて出す注文。逆指値は「指定の株価まで下落したら売り」「指定の株価まで上昇したら買い」とする注文方法。通常の指値とは逆になるので逆指値。トレンドに逆らわない売買ができる。日本ではカブドットコム証券だけが提供。「W指値」は指値と逆指値を同時に指定する注文方法。「Uターン注文」は新規建て時に返済注文も出しておく注文方法。とくに信用取引の場合、逆指値は効果的だ。



新規建て1回3000円 ばっきりのワンウェイ手数料

一般的な手数料体系は、「約定代金 円までは手数料 円」「1日約定代金 円までは手数料 円」といった具合に、約定代金や取引回数によって、違う。カブドットコム証券の信用取引にかかる手数料は、約定代金にかかわらず新規建て1回につき3000円のみという、これまでにない発想の手数料体系。たとえば5000株買った場合に、売りを何度に分けても追加の手数料は一切、不要。これだと、「今日まとめて売ったほうが手数料がトクだから売ってしまおう」という、「手数料に振り回された取引」をしなくて済む。

JASDAQは4000円



白田 損がある一定の範囲に達したら売る。それは銘柄によってもその人の損の許容範囲によっても違うと思いますが、これによって大きな損失を防げます。短期売買ではこれを確実にやったほうがいいし、信用取引ではなおさらです。「逆指値」を利用して、利益をさらに拡大させることも可能ですよ。どういふことですか？

白田 ふつ一般的にやっている指値の売り注文というのは、下落へのケアを一切やらずに、持っている株に対して「これ以上、上がる分はいらないよ」と、利益にフタをするようなものですね。そう言われてみれば……。

白田 だから、また上がると思われる銘柄について、反落した場合に備えて、「逆指値」で売り注文を出しておく。これは、言ってみれば損は少なく、利益を取れる可能性は持っておくということ。値上がりが続けば、「逆指値」をどんどん切り上げていけばいいんです。信用取引だと、どうしても早く利食つから、利益が少なくなりがちだと言いましたけれど、そのデメリットもこれでカバーできるわけです。

聞けば聞くほど、信用取引にもつてこのシステムですね。

白田 こういふやり方をせずに儲けるのは至難の業ですよ笑。ち

なみに、「W指値」っていつのもあります。これは指値と逆指値を同時に指定できるんです。「究極のわがまま注文」と呼んでいるんですけど。

信用取引をやっている人って相場が気になって気になって、仕事を手につかないと思っんですけど、逆指値やW指値があれば相場を気にせず仕事に集中できますね。

白田 そつですね。初心者でもベテランでも、ウチとしてはできる限り儲けるために必要な「サービス」を追及し、提供しているつもりです。



手持ち資金30万円から始められる

信用取引は少ない資金で多額の取引を成立させることができるのが大きなメリットだ。始める際には、委託保証金（信用取引を行なうための担保金）が必要だが、カブドットコム証券の委託保証金は法定下限の30万円。委託保証金率は33%なので、預けた保証金の3倍相当の取引ができる。

信用で儲けるためにほんとうに有利な手数料体系を実現

信用取引の手数料も有利だと聞きました。

白田 ワンウェイ手数料ですね。信用取引の場合は、売りと買いがワンセットになっているんです。「新規建て」と「返済」って言うんですけど、弊社の場合、手数料は新規建てのときの3000円のみです。実際には他社と比べてもかなり手数料は安く済みますよ。

これもリスク管理追求型信用取引という発想に基づいているんですか。

白田 そつですね。これも一般的によく言われることなんですが、分割買いつてほとんど失敗するんです。分割買いで、相場が上がっていき過程で買い増す、「買い上がり」はいいんです。よくないのが「買い下がり」。いわゆるナン

ピン買いといつヤツですね。
短期売買にはタブーの「相場に逆らった買い」になってしまっただけですね。

白田 うまくいけば買いコストが下がっていいんですけど、**そううまくはいかない**笑。ワンウェイ手数料で、分割買いをするのは不利なんです。5000株を5回に分けて買つと、1万5000円もかかってしまつてしまう。逆に、まとめて買つて分割で売る（返済）と非常に有利です。

なるほど。たとえば、5000株買つて、20000株、10000株、10000株、10000株と、相場動向を見ながら何回かに分けて売つても、手数料は30000円なんです。

白田 そつです。まとめ買いが有利で分割買いは不利。つまり短期投資であまりうまくいかないうような**ナンピン買いが損になる手数料体系**になっている。だから、言葉で説明する必要はないんです。ナンピン買いよりロスカットをきっちりやりましようといっているようなものなんです。

すいぶん親切ですね。
白田 しくみ上、**短期投資が上達するやり方を自然と、お客さまが身につけられる**。そういうエッセンスが実は、「隠し味」と

して入っているんですね。

だから、カブドットコムで信用取引をされているお客さんの成績がいいんだ（P.8のグラフ参照）。**勝つ確率を上げるしくみが揃っているわけですね。**

信用取引だから危ないといっている間違っている

今、信用取引に対するニーズが高まってきているんです。白田 とても高まってきています。これまでは資産が2000万円以上ないとダメとか、女性はダメとか、高齢者はダメとか、そういういろいろな制限があったでしょう。でもそれだと勉強をして、信用取引でリスクヘッジをやりたいといった若い人たちははじかれてしまっただけです。

今、オンライントレードでは、そうしたハードルはほとんどないですよ。

白田 そつですね。最低保証金も30万円というところが増えて、若い人にも投資のチャンスが広がってきました。

「それでも信用取引は怖い」としり込みしている人たちに、何かいいアドバイスはありますか？

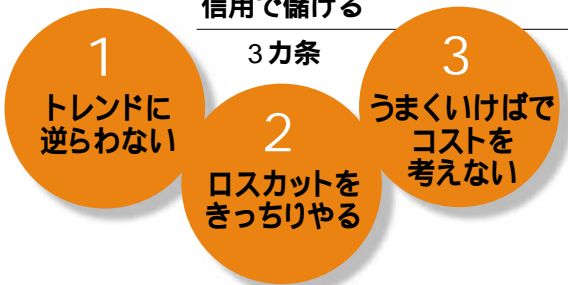
白田 信用取引だから危ないとか先物は危ないとかいふのは、間違っていますよ。最終的には、どんな商品でも、勝てるかどつかはそ

の人の投資行動しだいなんです。じゃあ、長期投資でNFT株を300万円を買って今まで持ち続けている人と、6カ月前に信用で買って売った人と、どちらが損が大きいと思いますか？

信用のほうがいいか少ないか、思います（笑）

白田 ですよ。相場において自分でできる唯一のことは、**損を自分で決めること**なんです。それさえやっておけば、どんな金融商品だって損は小さくできる。それがリスク管理。そういう発想をすることが、利益を伸ばすことにもつながるんです。

信用で儲ける



常に取引状況をタイムリーに把握できる便利さ!

信 用期日が近づいてくると「月日が期日です」と連絡が入ったり、保証金維持率が所定の割合を下回ると「%を下回りました」とパソコンや携帯などの電子メールに連絡が入る（アラート通知）。株価動向や約定結果を知らせてくれる「カブコール」と併用することによって、より多角的な信用取引の管理が行なえるのだ。

【件名】
kabu.call/ユーエフジェイホールディングス200000円以上達成

【本文】
様
東京/ユーエフジェイホールディングス
200000円以上
2002/10/20 09:37:20
上記の銘柄が目標値に達しました
...
<http://kabu.com>
カブドットコム証券

カブドットコム証券の信用取引ルール

- 取扱市場 / 銘柄 東証・大証・名証・マザーズ・ナスダックジャパンの制度信用銘柄、JASDAQの信用銘柄
- 最低委託保証金 30万円
- 委託保証金率 33%
- 最低保証金維持率 30%
- 建玉上限 1銘柄あたり5億円、総建玉合計5億円
- 代用掛目 80%